

DX Report 2024

ニデック DXレポート



Designed by pikasupster - Freepik

Designed by rawpixel.com / Freepik

目次

トップメッセージ

- 02 デジタル未来への舵取り
- 02 DXの軌跡

会社情報

- 03 設立の目的
- 03 ニデックSDGs宣言

DX推進体制

- 03 組織体制
- 03 ITシステム・デジタル技術
活用環境の整備

DX戦略

- 04 顧客情報の価値化
- 04 全社システムの最適化による生産性向上
- 04 サービスのデジタル化推進
- 04 IT人材育成

編集方針

株式会社ニデックは、いつの時代も存在意義のある企業で在り続けるために、「Eye & Health Care」を核とした事業をグローバルに展開するとともに、国内外の法令の遵守はもとより、高い倫理観と公平性を持って行動し、持続可能な社会の発展に貢献することを念頭に置いて事業を推進しています。

ニデックDXレポートは、さまざまなステークホルダーの皆さまに、当社のDXへの取り組みに関する企業の活動内容をお伝えすることを目的に作成しました。本レポートは、2023年度の情報をまとめたものです。

本レポートの配色は、「カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット」（制作：カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット制作委員会）を参考に作成しています。（URL：<http://www.cudo.jp/colorset>）

本レポートは、ユニバーサルデザイン（UD）の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルフォントを採用しています。



ニデックDXレポートプロフィール

報告対象組織
株式会社ニデック

報告対象期間
2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）

ニデックDXレポート公開時期
2024年5月
（次回公開予定：2025年5月）

公開形態
ウェブサイトにて公開

お問い合わせ先

株式会社ニデック 企画部 秘書広報課
TEL : 0533-67-6611（大代表）
E-Mail : info@nidek.co.jp

当社に関する詳しい情報は、ウェブサイトをご覧ください。



Web

<https://www.nidek.co.jp>

Designed by Harryarts / Freepik

トップメッセージ

「みる」喜びと健康を
技術で支え、
変わらない安心を
世界へ届ける。

代表取締役社長

小澤 素生



デジタル未来への舵取り

デジタル技術は飛躍的に向上し、私たちの生活を一変させてきました。AI・IoT・自動化等のデジタル技術革新はアイケア領域でも大きな変化をもたらしています。このような環境の中ニデックでは、デジタルの進歩が社会全体に及ぼす影響を認識し、私たちの使命である、世界中の多様なユーザーに「みる」ソリューションを提供することを果たすため、DXを推進しお客さまの課題解決に取り組んでいます。

DXの軌跡

デジタル技術の効果を最大限に活かすために、社内で部署横断型のプロジェクト(業務改革推進プロジェクト、デジタル文書化プロジェクト)を立ち上げデジタル活用を推進しており、今後も活動を継続してまいります。

またIT人材の育成にも力を入れています。専門の部署を創設し、全社のIT人材育成計画の企画・運営など、ITリテラシーの底上げに努めています。全社員を対象とした情報セキュリティに関する教育の受講率は100%であり、2023年度はセキュリティテストを計2回実施しました。

会社情報

設立にあたって定めた事業の目的をふまえ、ニデックSDGs宣言を策定・発表しています。

設立目的

設立にあたり、当社は事業の目的を次のように定めました。この「設立の目的」は、当社が事業をする上で常に尊重されるものであり、いつの時代でも大切にすべき原点です。詳細は弊社ウェブサイトをご覧ください。
(<https://www.nidek.co.jp/company/purpose.html>)

事業の目的

- (イ) invisible to visible (見えないものを見えるようにする機器)
- (ロ) visible to recognition (見えたものの認識 判断する機器)
- (ハ) eye instruments (眼に関連する機器)

ニデックSDGs宣言

国際連合が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)の趣旨に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、2021年8月に「ニデックSDGs宣言」を策定しました。

『「みる」喜びと健康を技術で支え、変わらない安心を世界へ届ける。』を10年後の当社の存在意義としました。「多様性社会との共存」「環境配慮と資源循環」「予防医療を促進する社会づくり」「目に疾病のある方を支える」に取り組むために4つの課題を設定し、明るい未来の実現に貢献いたします。宣言の詳細は弊社ウェブサイトをご覧ください。(https://www.nidek.co.jp/themes/nidek/upload/company/nidek_SDGs_2021_J.pdf)

多様性社会との共存

世界中の多様なユーザーに「みる」ソリューションを提供する

- ▶ 変化する多様なニーズを吸収する仕組み作り
- ▶ 多様性に応じた製品・サービスの提供
- ▶ 製品・サービスを提供する領域の拡充



予防医療を促進する社会づくり

目から予防医療を身近にし人々の健康維持を支える

- ▶ 目の検査を身近なものにする技術開発
- ▶ 目の検査を普及するためのパートナーシップ構築
- ▶ 目から健康維持に関する情報発信と検査機会の提供



「みる」喜びと健康を技術で支え、
変わらない安心を世界へ届ける。



環境配慮と資源循環

地球に優しいものづくり体制を構築する

- ▶ 環境配慮型の製品開発
- ▶ 環境配慮型製品の啓発活動
- ▶ DX推進による省資源化



目に疾病のある方を支える

パートナーと共にQOLの向上を実現する

- ▶ 見えないものを見えるようにする技術への挑戦
- ▶ 「みる」をサポートする製品づくり
- ▶ QOLの向上を目指す環境づくり



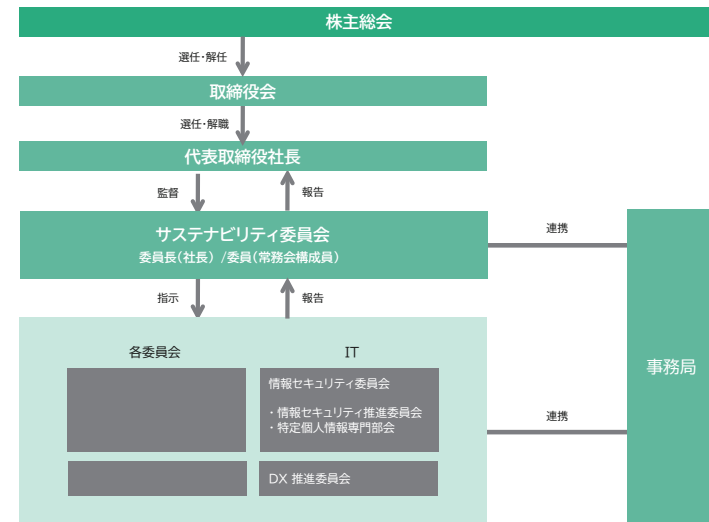
DX推進体制

全社でDXを実現するため、組織体制やITシステム・デジタル技術の活用環境を整えています。

組織体制

サステナビリティ委員会(旧CSR委員会)の直下に情報セキュリティ委員会とDX推進委員会を設置し、全社的にDXを推進しています。

委員会体制図



ITシステム・デジタル技術活用環境の整備

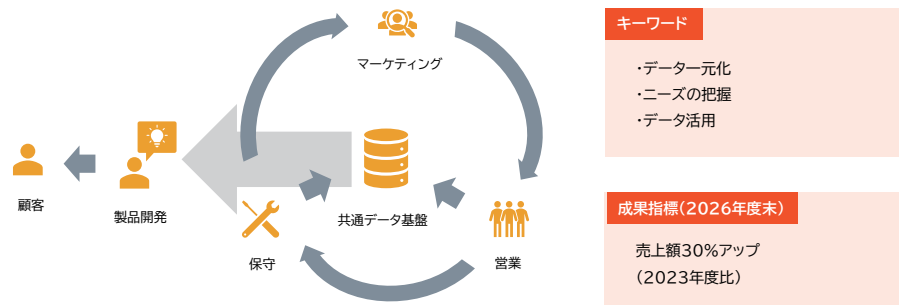
DXの実現に向け、デジタル改革を推進するための組織を発足させて、デジタル技術の活用を踏まえた業務プロセスの再構築に取り組んでいます。また全社のITリテラシー向上のための組織と制度を整備し、人材の育成に努めています。

DX戦略

当社はこの度、いつの時代も存在意義のある企業で在り続けるために、DX戦略を策定いたしました。各戦略に沿ってDXを推進し、更なる企業価値の向上を目指します。

顧客情報の価値化

各部門が保有する顧客情報データを一元化し、市場からのフィードバックを蓄積する。市場のニーズを的確に把握し、より市場から求められる製品開発を実現する。



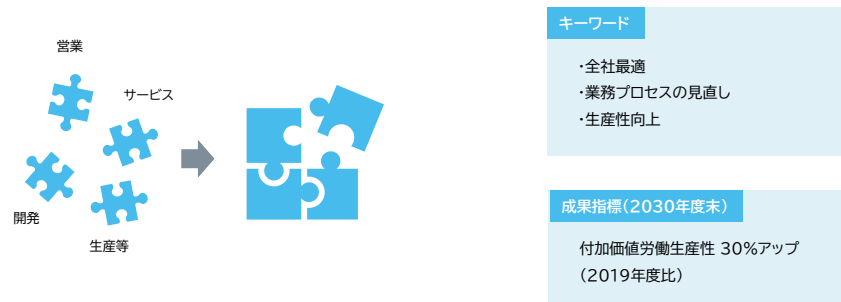
サービスのデジタル化推進

ウェブサイトや製品のリモート機能の充実化を通じて、当社の製品・サービスを利用される皆さまとのコミュニケーション体制やサポート体制を構築し、サービスの質の向上を図る。



全社システムの最適化による生産性向上

ICT技術を有効活用した業務プロセスの見直しを実施し、全社システムとデータを最適化することによって生産性を向上させる。



IT人材育成

ITリテラシーの底上げとデジタル専門人材教育を実施し、顧客や自社に価値を提供できる人材を育てる。

